

# ちば経済

新ネクサス7、あす発売  
米グーグルのタブレット  
米IT大手グーグルは26日、自社ブランドで手掛け

るタブレット型多機能端末「ネクサス7」の新製品を日本国内で28日に発売すると発表した。初代より薄く軽くなり、高精細画面と背  
面カメラを備えた。グーグルは東京都内で発表会を開いた。新製品は同社サイトや家電量販店で扱う。画面は7インチ、基本ソフト

## 東京ドームで知事PR

### 都内でラッピングバス運行

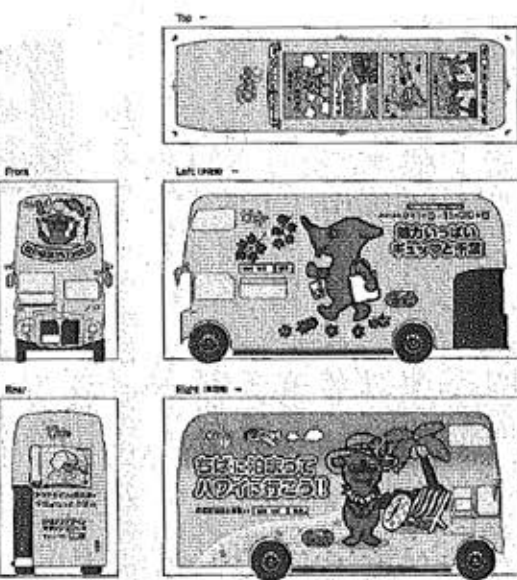
#### 9月から秋の観光キャンペーン

県内自治体や観光関係団体などをつくるちばプロモーション協議会による秋の観光キャンペーン「魅力いっぱい ギョウ♥と千葉」が9月1日からスタートする。今回初めて東京ドームの球場内外でPRを展開。過去に好評だった県マスコット「チーバくん」のラッピングバスの運行も都内で実施する。

辺などの都内の繁華街や観光スポットを走行する。期間は9月1日～10月31日。QVCマリンフィールド(9月6～8日)や勝浦市

で開かれる「関東・甲信越B-1グランプリ」会場(同28、29日)でも展示する。千葉への観光を呼び掛けるCMも作成し、9月2～15日に首都圏のJRや東京メトロ、埼玉高速鉄道の各電車内のスクリーンで放映する。県旅館ホテル生活衛生同業組合に加盟する旅館・ホテルの宿泊客を対象としたイベントが行われる。

東京ドームでのPR活動は9月12日午後4時～9時に実施。当日はプロ野球、読売ジャイアンツ対横浜DeNAベイスターズ戦で、森田健作知事とチーバくんが試合の合間にグラウンドでPR。また、チーバくんつちわのプレゼント(先着銀座、東京スカイツリー周



千葉への観光を呼び掛けるチーバくんのラッピングバスのデザイン

## 経人

### 「戸建賃貸住宅」に注力 借り主、地主の双方にメリット

「戸建賃貸を全国に広めた」。創業26周年を機に、東日本建設(市原市)は資産運用部門を新設。「戸建賃貸住宅 築(らく)」という商品で、新しい資産運用の形を提案する。人口減少時代に突入し、戸建住宅の需要が減少。アパートやマンションなどの賃貸住宅に脅威を感じてきた。そこで、従来の戸建施工のノウハウを活用。「あったらいいなという考えで作った」という「築」は、「住んでよし、貸してよし、売ってよし」という商品。フットワークの軽さが魅力で、市場での供給の少なから期待される高い利回り、少額の投資で始められる点、さらには高い節税効果が見込めるといい、借り主にとっても地主にとってもメリットがあるという。



東日本建設社長  
遠藤 一平氏

高齢者用住宅、大型分譲地開発も手掛けるほか、新たに設立した不動産会社「ネクストワンインターナショナル」の社長も務め、積極的な事業展開を図る。「経営者こそが一番働かないと、会社の成長は止まる」と力説。座右の銘は、自ら考案した「愛と喜びを与える経営者」。千葉県に貢献したいという思いを胸に、二つの会社の社長業に奮闘する。「仕事が大好きなので、趣味は車の運転ぐらい」と苦笑いする。休日はジムなどで自らの身体を鍛錬に励む。家族サービスも忘れない。千葉市内に妻、長女と3人暮らし。35歳。